



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名 東洋鋼板株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 5453 URL http://www.toyokohan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 厚夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 宮地 正文 (TEL) 03-5211-6200  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	84,286	△3.3	2,564	△29.7	2,745	△27.3	1,558	△41.2
24年3月期第3四半期	87,159	△4.3	3,648	△47.0	3,776	△45.3	2,649	△39.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,813百万円(△9.6%) 24年3月期第3四半期 2,006百万円(△53.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.47	—
24年3月期第3四半期	26.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	120,375	80,394	65.7
24年3月期	120,990	79,388	64.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 79,075百万円 24年3月期 78,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△3.5	3,100	△21.0	3,200	△23.7	1,900	△39.8	18.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	100,800,000株	24年3月期	100,800,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	48,119株	24年3月期	46,581株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	100,752,679株	24年3月期3Q	100,754,787株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	△4.3	2,400	△20.2	2,800	△25.7	1,700	△44.3	16.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」  
をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、欧州や中国をはじめとする世界経済の停滞の影響を受け、輸出や生産の減少が続いており、当期間の終盤にかけては円安傾向が見られたものの、依然として先行きは不透明な状況にあります。

鉄鋼業界は、建設向けで堅調な生産が続いておりますが、製造業向けの鋼材内需の低迷に加え、アジア市場における需給緩和や諸外国との競争が激化するなど、厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、品質、価格ともに国際競争力のある製品作りと拡販に取り組むとともに、更なるコストダウンに努めてまいりましたが、販売数量の低迷や販売価格の下落などにより、売上高は842億86百万円となり、営業利益は25億64百万円、経常利益は27億45百万円、四半期純利益は15億58百万円となりました。

## 第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

売上高	842億86百万円（前年同期比 3.3%減）
営業利益	25億64百万円（前年同期比 29.7%減）
経常利益	27億45百万円（前年同期比 27.3%減）
四半期純利益	15億58百万円（前年同期比 41.2%減）

第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における事業別の概況は次のとおりです。

## ① 鋼板関連事業

売上高	657億28百万円（前年同期比 4.9%減）
営業利益	7億46百万円（前年同期比 51.1%減）

## &lt;缶用材料&gt;

缶用材料は、飲料缶材が主要用途であるコーヒー缶の販売不振の影響を受けて減少したことに加え、工業用缶材が化学関連用途で低迷が続いており、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

## &lt;その他の材料—電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け&gt;

電気・電子部品向けは、電池材がハイブリッド車用途の堅調な需要に支えられ、売上、営業利益ともに前年同期をやや上回りました。

自動車・産業機械部品向けは、自動車部品材料が復調したものの、ベアリングシール材の需要が低迷し、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

建築・家電向けは、冷蔵庫扉材が節電需要に支えられた前年同期に比べ減少したものの、ユニットバス内装材、建築外装材が堅調に推移したことにより、全体としては売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

## ② 機能材料関連事業

売上高	142億15百万円（前年同期比 5.7%増）
営業利益	13億21百万円（前年同期比 9.7%減）

## &lt;磁気ディスク用アルミ基板&gt;

磁気ディスク用アルミ基板は、需要の低迷と高品質対応による製造原価上昇の影響を受け、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

## &lt;光学用機能フィルム&gt;

光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場において着実に浸透し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

## ③ その他事業

売上高	60億円（前年同期比 6.1%減）
営業利益	4億60百万円（前年同期比 27.1%減）

<梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金>

梱包資材用帯鋼は、需要の低迷や販売価格の下落により、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

コイル結束装置などの機械器具は、価格競争が激化した装置本体に加え部品の販売も低迷したため、売上、営業利益ともに前年同期を大きく下回りました。

硬質合金は、プラスチック金型の販売が低迷したものの、主力の射出成形機部品の堅調な需要やコストダウンに努めたことにより、売上は前年同期をやや下回りましたが、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

なお、各事業の売上高、営業利益は事業間の取引による金額を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ6億14百万円減少して、1,203億75百万円となりました。このうち流動資産は、売上債権、たな卸資産等は減少したものの、現預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億51百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億66百万円減少しました。

負債は、未払金の減少等により、前連結会計年度末に比べ16億21百万円減少して399億80百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億6百万円増加して803億94百万円となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

鉄鋼業界は、製造業向けの鋼材内需の低迷をはじめ、アジア市場における需給緩和や諸外国との競争が激化するなど、厳しい状況が続いております。当社におきましても、鋼板関連事業における収益の減少等が見込まれるため、平成24年9月25日に公表いたしました通期連結業績予想および通期個別業績予想を修正いたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	115,900	4,300	4,400	2,300	22.83
今回発表予想 (B)	110,000	3,100	3,200	1,900	18.86
増減額 (B-A)	△5,900	△1,200	△1,200	△400	
増減率 (%)	△5.1	△27.9	△27.3	△17.4	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	113,942	3,926	4,195	3,156	31.32

(参考)

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	103,700	3,000	3,600	1,900	18.86
今回発表予想 (B)	98,000	2,400	2,800	1,700	16.87
増減額 (B-A)	△5,700	△600	△800	△200	
増減率 (%)	△5.5	△20.0	△22.2	△10.5	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	102,438	3,008	3,769	3,050	30.27

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,968	17,742
受取手形及び売掛金	21,205	20,075
たな卸資産	26,249	24,224
その他	5,071	4,127
貸倒引当金	△301	△222
流動資産合計	65,194	65,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,488	15,002
機械装置及び運搬具(純額)	17,638	16,862
土地	11,943	11,943
建設仮勘定	1,221	1,199
その他(純額)	1,486	1,588
有形固定資産合計	47,778	46,596
無形固定資産		
投資その他の資産	533	475
投資有価証券	3,456	3,457
その他	4,045	3,911
貸倒引当金	△18	△11
投資その他の資産合計	7,483	7,358
固定資産合計	55,795	54,429
資産合計	120,990	120,375



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,524	9,967
短期借入金	15,865	15,864
未払法人税等	72	694
役員賞与引当金	61	—
その他	7,081	5,118
流動負債合計	33,605	31,645
固定負債		
社債	5,000	5,000
退職給付引当金	1,134	1,600
役員退職慰労引当金	18	19
PCB対策引当金	529	336
その他	1,314	1,378
固定負債合計	7,996	8,335
負債合計	41,602	39,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,040	5,040
資本剰余金	6	6
利益剰余金	73,865	74,618
自己株式	△20	△20
株主資本合計	78,892	79,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274	422
繰延ヘッジ損益	△53	—
為替換算調整勘定	△1,054	△991
その他の包括利益累計額合計	△834	△569
少数株主持分	1,330	1,319
純資産合計	79,388	80,394
負債純資産合計	120,990	120,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	87,159	84,286
売上原価	75,492	73,691
売上総利益	11,667	10,595
販売費及び一般管理費	8,018	8,031
営業利益	3,648	2,564
営業外収益		
受取利息	41	39
受取配当金	123	102
受取賃貸料	113	107
その他	298	278
営業外収益合計	575	528
営業外費用		
支払利息	159	157
社債発行費	90	—
その他	198	190
営業外費用合計	447	347
経常利益	3,776	2,745
特別損失		
投資有価証券評価損	—	275
特別損失合計	—	275
税金等調整前四半期純利益	3,776	2,469
法人税等	1,181	964
少数株主損益調整前四半期純利益	2,594	1,505
少数株主損失(△)	△54	△53
四半期純利益	2,649	1,558

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,594	1,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271	147
繰延ヘッジ損益	0	53
為替換算調整勘定	△317	106
その他の包括利益合計	△588	308
四半期包括利益	2,006	1,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,187	1,824
少数株主に係る四半期包括利益	△181	△11

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,401	13,452	6,305	87,159	—	87,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,680	—	87	1,767	△1,767	—
計	69,082	13,452	6,392	88,927	△1,767	87,159
セグメント利益	1,524	1,464	631	3,620	28	3,648

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,208	14,215	5,863	84,286	—	84,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,519	—	137	1,657	△1,657	—
計	65,728	14,215	6,000	85,944	△1,657	84,286
セグメント利益	746	1,321	460	2,528	36	2,564

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。